

助け たす

家ではどんなことを手伝っていますか。どんなことをしているか考えて、思いついたことを、つぎの空白に書いてください。

神さまは私たちの助け

私たちは、なにをするにしても力が足りなくて、  
なにも満足に行うことができません。しかし、神さまが、私たちの助けとなつて、私たちの行いの手伝いをして下さっています。

ですから、イスラエルの人たちも、自分たちの神さまへの感謝の気持ちを詩篇で歌っています。私たちが、神さまへの信頼をこめて、詩篇を歌ったり、祈りを作りましょう。

私たちは、どのようなときに、神さまが私たちの助けであることを感じるでしょうか。うまくいって

るときよりも、なにかむずかしいことにぶつかって、  
困っているときに、より多く感じますね。どんなとき  
に、神さまの助けの大切なことを感じるか、それぞれ  
考えてみて下さい。

ところで、聖書では、助け手ということばが、神さ  
ま以外にも使われています。創世記の物語で、男と  
女が造られる場面で、「人が独りでいるのは良くない。

彼に合う助ける者を造ろう」と言われています。

イエスさまは、弟子たちについてまでも共にいると  
約束されました。弟子たちにとつてと同じく、私た  
ちにとつても、助け手となつてくださるのはイエスさ

ます。私たちがイエスさまのことを忘れていても、  
イエスさまは、私たちと共にいて助けてくださいま  
す。

もちろん、みんながお互いに助け合うことを忘れて  
はなりません。私たちがほかの人のために助けの手  
をさしのべてあげるとき、イエスさまも私たちが助  
けてくださいます。

